

平成26年秋 当院は生まれ変わります！

新病院への道 第1回

今号より「新病院への道」を特集でお送りいたします。新病院の概要や機能、建設状況を毎回お知らせしていきますのでご期待。



平成25年2月1日
これから建設予定地を更地にしていきます。



平成25年4月10日
約2ヶ月で更地になりました。いよいよ新病院の建設に着手です。

住 所：東京都板橋区高島平1-73-1 高 さ：38.61m(最高47.01m)地上10階/地下1階
建築面積：1629.43㎡ 着 工：平成24年11月
延床面積：11646.37㎡ 竣 工：平成26年秋

外来受付時間

	受付時間	内 科	外 科	消化器科	整形外科	眼 科
午前	9:00～12:30	○※1	○	○	○※2	○
午後	14:00～17:00	○	○	○	○	○
夜間	17:30～19:00	○	○	○	○	

	受付時間	耳鼻咽喉科	泌尿器科	小児科	皮膚科	脳神経外科
午前	9:00～12:30	○※3	○	○		○※7
午後	14:00～17:00	○※4	○※5	○		○※8
夜間	17:30～19:00			○	○※6	

<備 考>

※1 水曜日の糖尿病専門外来の診察時間は9:30～12:30	※6 火曜日の診察は行っておりません。
※2 火曜日の午前の受付は11:30まで	※7 月(第4月曜日休診)・火(第4火曜日のみ診療)・水・金曜日のみ
※3 初診受付12:00まで	※8 月・金曜日のみ 月曜日の診察時間は14:30～17:00
※4 初診受付16:30まで	※ 土曜日は午前中の外来のみ行っております。
※5 水曜日は手術予定次第で休診	※ 時間変更や休診等がございますので、お電話でご確認のうえ、ご来院ください。

－ 病 院 理 念 －
心の通う、温もりのある医療

－ 基 本 方 針 －

- ・患者様に公平で安全かつ良質な医療を提供できるよう研修、研鑽します。
- ・医師による説明と患者様の意思を尊重し、選択に基づく納得のいく医療を推進します。
- ・地域の救急病院として、常に最善を尽くし適切な医療を提供します。

“さくらんぼ” 高島平中央総合病院
Vol.8 2013.6

発行／高島平中央総合病院 地域医療連携室
発行日／2013年6月
〒175-0082 東京都板橋区高島平1-69-8
医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院
TEL.03-3936-7451 (代表)
<http://www.ims.gr.jp/takashimadaira-hosp/>



「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

新 病 院 長 の ご 挨拶

昭和48年開設以来、高島平中央総合病院はIMS(イムス)グループメンバーとして、皆様からのご支援をいただきながら地域医療に努めてまいりました。まず、これまで私どもを支えて下さいました患者様、地域の方々、そして近隣の医療機関・介護施設様に心から感謝を申し上げます。

平成25年、年明けとともに平成26年秋の開院を目指し、新病院の建設が始まりました。近隣の方々、入院、通院患者様には大変なご迷惑をおかけしていることとお詫び申し上げます。

現在、既存の病院建物、設備の老朽化が目立ち、私たちが目指す「地域に信頼され、選ばれる医療施設」には限界が生じております。病院職員が働きやすい職場があつてこそ、患者様、ご家族に心の通う、ぬくもりのある医療を提供できるものと信じております。そして高水準の医療機器と医療技術の充実により、診療の質と安全の向上を図るとともに、板橋区における救急医療の中核病院としての強化充実を進めてまいります。

これからも全職員が医療人としての自覚を持ち、真面目に地域医療に向かい合つてゆく所存でございます。今後とも皆様方のご理解、ご支援をお願いいたします。

院 長 島 峰 聡





新任医師のご紹介



出身学校／自治医科大学（昭和61年卒）
職 歴／自治医科大学病院 熊本機能病院 結城病院 桐生整形外科病院
太田福島総合病院
資格・認定医／日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医

ごあいさつ／私はこれまで腰痛疾患を中心に診療してきました。腰痛でお困りの患者さまは多く、ほとんどの方は保存的治療で治癒しますが、中には手術の必要な方もいらっしゃいます。個々の患者さまの病状と生活環境を総合的に判断して、オーダーメイド治療を目指していきます。腰痛でお困りの方はご相談ください。

あかし ゆうじ
整形外科部長（脊椎） 明石 裕地 先生



出身学校／千葉大学（平成13年卒）
資格・認定医／日本形成外科学会専門医
得意分野／外傷一般

ごあいさつ／現在まで形成外科を専門として診療をしてきました。整形外科としての経験は浅いですが、頑張っまいますので、宜しくお願いいたします。

さいとう けいた
整形外科 齊藤 計太 先生



出身学校／山口大学（平成17年卒）
資格・認定医／日本整形外科学会専門医
得意分野／外傷一般

ごあいさつ／現在まで大腿骨頸部骨折をはじめとした外傷一般の手術をしてまいりました。今後は人工関節等の変性疾患の治療も行っていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

かなざわ ひろこ
整形外科 金澤 寛子 先生



出身学校／東京医科大学（平成18年卒）
資格・認定医／医学博士 日本小児科専門医
ICD（インフェクションコントロールドクター）日本小児感染症学会推薦
日本小児精神神経学会認定医

ごあいさつ／一般感染症、呼吸器疾患、アレルギー性疾患（気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎）などの一般小児領域を中心に行ってまいります。これまでは神経（特に神経感染）を専門に診療してまいりました。最近は、小児精神領域も勉強させていただいています。診察上さらなる精査が必要な場合には、連携先として東京医科大学附属病院などがあります。是非お気軽にご相談ください。

もりち しんいちろう
小児科 森地 振一郎 先生

熱中症にご注意を！

熱中症とは、暑い環境の中で体内の水分や塩分（ナトリウム等）のバランスが崩れたり、体内の調整機能がうまく機能しなくなったりすることで起こる障害の総称です。

昨年度の夏季には、熱中症による救急搬送件数が全国で4万件以上もあり、その約半数が65歳以上の高齢者です。家の中でじっとしていても、エアコン等の冷房をつけずに室温や湿度が高いところに長くいると、熱中症になる場合がありますので注意が必要です。



熱中症の症状

軽 症

- ・めまい
- ・立ちくらみ
- ・大量の発汗
- ・こむら返り

日陰などの涼しい所で安静にし、水分補給をする

中等 症

- ・吐き気
- ・頭痛
- ・脱力
- ・体がだるい

体を冷やし、水分の十分な補給と塩分の摂取

症状の改善が見られない場合は医療機関へ受診

重 症

- ・意識障害
（呼びかけに応じない
意識が朦朧としている）
- ・けいれん
- ・歩行障害

体を冷やししながら、水分・塩分を摂取し、至急、救急医療病院へ受診



私たちの体には、約0.9%の塩分を含んだ血液が流れています。ひとは大量の汗をかくと、塩分が失われます。この時に水だけを飲むと、血液の塩分濃度が薄まり、ひとはそれ以上に水が飲めなくなります。同時に余分な水分を尿として排泄してしまい、その結果、脱水と血液中の塩分濃度の希薄化が起こり、この状態で居続けると、熱中症となるわけです。

体調が悪いと体温調節能力も低下し、熱中症につながります。体調の悪い時には無理に運動をしないようにしましょう。肥満の人、暑さに慣れていない人、熱中症をおこしたことがある人などは暑さに弱いので注意が必要です。



Point 1

部屋の中にいるときは
室温が28℃を超えないようにしましょう

熱中症予防のポイント

Point 2

のどが渇いていなくても
こまめに水分補給と、塩分補給をしましょう

Point 3

外出の際は
日傘等の日よけ対策をしましょう

Point 4

日ごろから暑さに負けない
体力作り体調管理をしましょう

Point 5

無理をせず
適度に休憩をとりましょう